



2021年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年4月23日

上場取引所 東

上場会社名 三菱鉛筆株式会社

コード番号 7976 URL <https://www.mpuni.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 数原 滋彦

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 蛇川 寿史 TEL 03-3458-6215

四半期報告書提出予定日 2021年5月10日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第1四半期の連結業績 (2021年1月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	16,203	2.5	2,380	3.6	2,815	21.6	1,983	38.4
2020年12月期第1四半期	15,802	△10.3	2,298	△27.5	2,314	△28.0	1,433	△33.7

(注) 包括利益 2021年12月期第1四半期 3,697百万円 (-%) 2020年12月期第1四半期 △1,379百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	35.35	-
2020年12月期第1四半期	25.49	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期第1四半期	120,783	94,622	77.0	1,659.66
2020年12月期	114,882	91,855	78.4	1,604.90

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 92,992百万円 2020年12月期 90,071百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	-	15.50	-	15.50	31.00
2021年12月期	-	-	-	-	-
2021年12月期 (予想)	-	16.00	-	15.00	31.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

2. 2021年12月期の中間配当金16円は、創業135年記念配当金1円を含んでおります。

3. 2021年12月期の連結業績予想 (2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	58,500	6.0	6,300	14.7	6,700	11.9	4,400	15.9	78.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期1Q	64,286,292株	2020年12月期	64,286,292株
② 期末自己株式数	2021年12月期1Q	8,255,465株	2020年12月期	8,163,308株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期1Q	56,122,912株	2020年12月期1Q	56,239,555株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(注) 予想数字につきましては、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして実際の業績等は、様々な要因の変化などにより、予想とは異なる場合があることをご承知おき下さい。業績予想の前提となる条件等につきましては添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2021年1月1日から2021年3月31日まで)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行に伴う経済活動の制限により、実体経済が深刻な影響を受け、感染症拡大の収束の見通しも立たずに、厳しい状況で推移いたしました。先行きといたしましても、引き続き感染拡大防止策を講じながら、経済活動の再開に向けた取り組みがされるなかで、持ち直しの動きが期待されるものの、依然として不安定な状況が続くと考えられます。

当社グループが属しております筆記具業界におきましても、国内外の新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、世界各国の海外渡航にかかる制限がされるなか、インバウンド需要の低迷が続いております。一方、外出規制やテレワークの広がりにより、自宅での生活を充実させるための個人消費が高まっていることに加え、インターネットを通じた流通が更なる広がりを見せており、こうした市場環境の変化に迅速に適応していくことが求められています。

このような経営環境の中、当社グループでは、テレワークや時差出勤などの積極的な活用や、オンラインでの会議の実施等を継続しつつ、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に最大限配慮しながら、「最高の品質こそ最大のサービス」という社是のもと、お客様の「かく(書く/描く)」行為に喜びや驚きといった彩りを添えることができるような商品開発に継続して取り組んでまいりました。シャープ「ユニ アルファゲルシリーズ(注)」より「芯が回ってトガリ続ける」「 Kultガモード」と「安定した筆記感」の“ホールドモード”を切り替え、使用シーンに合わせて使える「ユニ アルファゲル スイッチ」を発売し、またシャープ替芯シリーズより“新開発 こすれに強くノートをキレイに保つ密着芯”「uni(ユニ)」を発売いたしました。さらに、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う新しい生活様式における働き方や勉強スタイルの変化を踏まえ、「おうち仕事/おうち勉強応援企画」として「@HOMEプレゼントキャンペーン」を展開し、既存の商品の拡売に努めてまいりました。一方で、市場環境に対応した柔軟な生産体制への移行やコスト抑制に努めながら、将来への投資を維持し、収益の確保に当社グループ一丸となって取り組んでまいりました。(注) アルファゲルは株式会社タイカの登録商標です。

これらの活動の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は16,203百万円(前年同期比2.5%増)となりました。また営業利益は2,380百万円(前年同期比3.6%増)、経常利益は2,815百万円(前年同期比21.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,983百万円(前年同期比38.4%増)となりました。

セグメント別の業績を概観いたしますと、筆記具及び筆記具周辺商品事業におきましては、国内市場、海外市場ともに新型コロナウイルス感染症の影響によるインバウンド需要やノベルティ市場は依然として厳しい状況が続いておりますが、外出自粛によって自宅で過ごす時間が増えたことに伴う個人需要の高まりに対し、様々な施策による取り組みを図ったことで、売上の低迷に歯止めを掛けることができました。それにより外部顧客への売上高は15,579百万円(前年同期比2.3%増)となりました。粘着テープ事業、手工芸品事業といったその他の事業におきましても、事業を取り巻く市場環境は依然として厳しいものの、外部顧客への売上高は623百万円(前年同期比8.5%増)となりました。

なお、上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産に関する分析

当第1四半期連結会計期間末の資産は、主に建物及び構築物や現金及び預金が増加したことにより、前連結会計年度末に比べて5,901百万円増加し、120,783百万円となりました。

負債は、主に支払手形及び買掛金やその他流動負債が増加したことにより、前連結会計年度末に比べて3,134百万円増加し、26,161百万円となりました。

純資産は、主に利益剰余金やその他有価証券評価差額金が増加したことにより、前連結会計年度末に比べて2,766百万円増加し、94,622百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月9日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

なお、新型コロナウイルス感染症による影響に関しましては不確実性が高いため、収束時期の遅れなど今後の状況の変化により連結業績予想を修正する必要がある場合は速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	42,779	45,420
受取手形及び売掛金	15,142	16,535
たな卸資産	16,401	16,294
その他	1,724	1,636
貸倒引当金	△1,347	△1,339
流動資産合計	74,700	78,546
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,494	15,147
その他(純額)	11,343	9,427
有形固定資産合計	23,837	24,575
無形固定資産	1,153	1,094
投資その他の資産		
投資有価証券	13,413	14,787
その他	1,776	1,780
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	15,189	16,567
固定資産合計	40,181	42,236
資産合計	114,882	120,783

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,342	7,532
短期借入金	1,528	1,528
未払法人税等	645	1,009
賞与引当金	490	1,070
返品引当金	35	49
その他	4,635	5,483
流動負債合計	13,677	16,673
固定負債		
長期借入金	4,018	3,838
退職給付に係る負債	3,808	3,801
役員退職慰労引当金	115	118
その他	1,407	1,729
固定負債合計	9,349	9,488
負債合計	23,026	26,161
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,497	4,497
資本剰余金	3,725	3,968
利益剰余金	83,807	84,926
自己株式	△6,764	△6,793
株主資本合計	85,266	86,599
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,199	5,038
為替換算調整勘定	473	1,227
退職給付に係る調整累計額	132	126
その他の包括利益累計額合計	4,805	6,392
非支配株主持分	1,783	1,630
純資産合計	91,855	94,622
負債純資産合計	114,882	120,783

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
売上高	15,802	16,203
売上原価	7,376	8,089
売上総利益	8,426	8,113
販売費及び一般管理費	6,127	5,732
営業利益	2,298	2,380
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	17	24
受取地代家賃	17	14
受取保険金	49	15
為替差益	—	355
その他	15	59
営業外収益合計	104	473
営業外費用		
支払利息	10	8
為替差損	40	—
シンジケートローン手数料	9	9
売上割引	17	17
その他	10	3
営業外費用合計	88	38
経常利益	2,314	2,815
特別利益		
固定資産売却益	192	0
投資有価証券売却益	—	8
特別利益合計	192	9
特別損失		
固定資産除売却損	1	1
工場再編損失	252	3
代理店契約解約損	197	—
特別損失合計	451	5
税金等調整前四半期純利益	2,055	2,820
法人税等	571	751
四半期純利益	1,483	2,068
非支配株主に帰属する四半期純利益	50	84
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,433	1,983

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益	1,483	2,068
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,484	838
為替換算調整勘定	△383	795
退職給付に係る調整額	4	△5
その他の包括利益合計	△2,863	1,628
四半期包括利益	△1,379	3,697
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,367	3,570
非支配株主に係る四半期包括利益	△11	126

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	筆記具及び筆記具 周辺商品事業	その他の事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	15,227	574	15,802	—	15,802
セグメント間の内部売上高又は振替高	1	7	8	△8	—
計	15,229	581	15,810	△8	15,802
セグメント利益	2,282	10	2,293	5	2,298

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2021年1月1日至2021年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	筆記具及び筆記具 周辺商品事業	その他の事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	15,579	623	16,203	—	16,203
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	4	5	△5	—
計	15,580	628	16,208	△5	16,203
セグメント利益	2,302	64	2,367	12	2,380

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。